

空間上手

2012
63
AUTUMN

木で暮らす生活を提案

夫婦で楽しむ、おもてなしの家

夢つながり

隠れ家ギャラリー えん

自然育児 森のわらべ多治見園

匠の技

黒川東展示場二階部分がリニューアルされました

心の風景

恵木の杜 サマーフェスティバルが開催されました



夫婦で楽しむ、おもてなしの家

倉さんご夫妻（愛知県名古屋市）

今回は名古屋市内にお住まいの倉さんご夫婦の新居を訪ねてきました。「人をもてなすのが好き」と口を揃える倉さんご夫婦。新築にあたっては「多くの人が集まってパーティを楽しめる家」を実現したかったと仰います。さて、どんなお家に仕上がったのか、伺っていきましょう。

写真／梶野 碧 文／有田幸司

誰もが目を惹かれる新居

名古屋市内の一面を歩くと、煙突を備えた優麗な住居が目を見えます。こちらが倉さんの新居。その立体的な外観は、一度目にした人なら誰でも「この家の内部はどんな風になっているのだろうか？」と興味を持たずにはいられない雰囲気があります。実は、ご新居の建築レイアウトはV字型の特殊な使用。この通常見かけることのない立体感が、人々の興味を惹きつけるものになっているのです。加えて一見、モダンな洋風建築の趣が強い倉さんのお宅ですが、玄関まで立ち入ると、一転、見事な日本庭園と縁側の和建築の趣が垣間見えます。近づくほどに、予想とは異なる姿が見えてきて、ついつい中が覗きたくなる。そんな印象的な外観を備えるお宅なのです。

新居の構想は10年以上

新居を建てることになった経緯を伺うと、なんと構想は10年以上と仰います。理由は、10年以上前から計画されていた都市計画にともなう区画整理でした。「所有する土地の形が大きく変わっても、可能な限り土地は有効に活かしたい。しかも木の家にこだわりたい。」しかし、この難しい条件に納得のいく答えを出せる建築会社はなかなか見つからなかったそう。こうした経緯を経て、高い技術を持つ新和建設に白羽の矢が立ったのだそうです。ご主人が考えた新居の構想は、間取り、建材から、立て替える旧家の木材活用まで多岐に渡ったため、建築がはじまってからも、仕様を変更することはしばしばあったそう。でも大工さんは全て、丁寧に要



望を聞いてくださったようで、「新居を建てた後で」こうしておけばよかった、と後悔する点はひとつもない」とご主人。納得の仕上がりのご様子です。

人々が集い楽しむLDK

さて、ではさっそくお家の中のレイアウトを紹介していきましょう。倉さんの新居は大きめに、東の間が洋風のLDK、西には2間続きの大きな仏間に日本庭園が見渡せる見事な板の間が連なる和室スペース、そして奥の吹き抜け階段と2階を構成するプライベートスペースの3つの空間から構成されています。

家の中に入っただけに感じるのとは、とにかく天井が高いこと。V字型の変速レイアウトを活かすため、玄関ホール、リビング、ダイニングの間にはほとんど仕切りがなく、広大で明るい空間が1階に展開されています。各部屋の間には、天井まである大型の間仕切り戸が特設されており、用途に応じて部屋の間を仕切ったり、間仕切りのないパーティールームを楽しんだり、空間の自由自在なアレンジが可能となっています。

洋間のインテリアは、無垢の楓の床に

白の珪藻土を基調とした涼やかな色合い。リビングの一面には煉瓦の下地に大型の薪ストーブが備えられ、季節の移り変わりと共に、様々な趣が楽しめます。夫婦とも「人をもてなすのが好き」と自認される倉さんご夫婦のお宅では、国内外からお客様が集うことも多いそう、この先もこのLDKが大活躍していきそうです。

日本庭園にのぞむ、西の日本間

洋風で統一されたLDKの西側には、一転、和風の大きな仏間を中心とした和室が広がります。一族の法要を務められる倉さんにとっては、こちらもお客様と先祖を祭る大事なスペース。2間続きの仏間の前には、檜の板の間が広がり、目の前には美しい日本庭園を眺めることができます。

仏間には、雪見風の明かり取り窓を採用し、季節毎に飾られる掛け軸と天然木の意匠を際立たせています。特に仏間に飾られた欄間は、立て替え前の旧家にあった意匠を誂え直したものの、倉さんがお住まいだった旧家には、いずれも愛着深い見事な建材が数多くあったことから、和室に限らず新居の随所で再活用されたいました。こうした造作が可能なのも、腕が確かな大工さんが建てた家だからこそ。思い出のある家の材料が、新居のインテリアとして毎日ふれることが出来るなんて素敵ですよ。

プライベートな空間こそ楽しんで

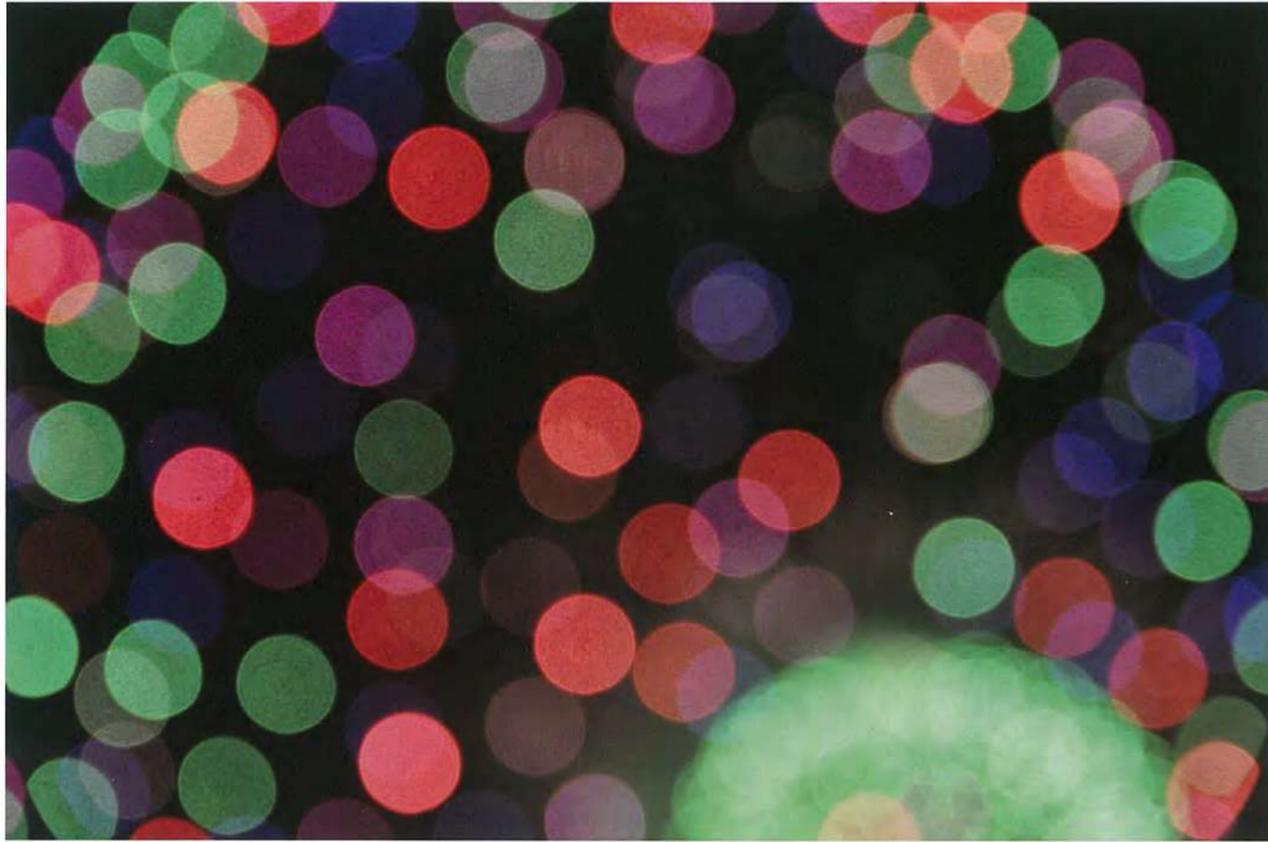
LDKと和室の奥には、見事な吹き抜け階段ホールが誂えられています。梁からはハンモックが吊され、外には日本庭園の後庭が覗き、随所に遊び心の感じられる趣向が凝らされています。ここから2階に上がると、2階のリビングとも言えるホールルームから、ゲスト向けの個室、和室、テラス、そしてご夫婦それぞれの個室へとつながっていきます。

プライベートスペースでは、飾られた美しい書画と、彫刻が目を見えます。実はご主人は彫刻を、奥さまは書をたしなまれ、その腕前はともにアマチュアレベルを凌ぐもの。特にご主人は、彫刻のために、自身のお部屋に専用の電灯を誂えたほどの熱の入れよう。書棚には、旧家の木材から削り出した見事な阿弥陀如来像が飾られ、現在是不動明王の彫像に取り組むなど、めきめき腕を伸ばしている様子です。

「何より住んでいる私たちが楽しんでますから」と奥さま。お住まいの倉さんご夫婦が楽しんでいるからこそ、新居のいたるところが充実しているのです。おもてなしの心溢れるご夫婦の新居で、豊かな一時を過ごさせていたいただきました。



PHOTO-ESSAY



物の見方を変えること

写真・文／加藤光博

カラフルなドットが不規則に並んだこの写真、何だかわかるだろうか。実は花火の写真。見ているままの花火を長時間同じように撮り続け、変わり映えしない写真に飽きてきた頃、少し見方を変えて撮ってみた。望遠レンズで限界まで被写体に近づいた後、ピントをズラし、大きくボカして撮ってみたことで出来上がった写真だ。

写真としていつもと違うものが撮れただけではなく、単色か、または2、3色に見える花火が、たくさん色から構成されていることを発見できたことにも感動した。

この写真のように、新しい発見があることは稀なのかもしれないが、物の見方を変えることの大切さや楽しさを、今後も大事にしていきたいと思う。



あたたかい夢を胸にがんばる人たちは、みんなどこかでつながっている。そんなゆるやかでシアワセな「志縁」をご紹介します。

文／梶野 碧

隠れ家ギャラリー えん

愛知県名古屋南区 呼続 1-10-23
電話：052-822-7088
<http://www.kakurega-en.com/>



笠寺観音が有名な名古屋南区。そこに築85年の密かな憩いの場があります。その名も隠れ家ギャラリー「えん」。古い日本家屋をお店として再利用し、畳の上になやぶ台でコーヒーを飲むという、不思議に落ち着いてしまう新しい「和スタイル」のカフェになりました。

とある通り、店内にはアクセサリーや陶器、かばん、野菜など様々な物が販売されています。これらはお客さんや知り合いの作家さんの作品を委託しているそうです。2階のお部屋では面白そうな教室も開講されており、お稽古という言葉に相応しい雰囲気です。マスターの服部さんは、高校生までこの南区で育ち、その後大学で建築を専攻。都市計画の勉強をされました。ヨーロッパ研修でイタリアを訪れた際、エスプレッソの美味しさに感動。いつかおいしいコーヒーを皆に提供する！が目標になり、その後、偶然にも現在の場所を借りること

となりました。オープンして3年が経った頃、もっと近所の人に来てもらおうと夏祭りを企画したところ、大盛況に。実はこの時、南区のまちづくりに力を貸してほしいと依頼があったのだそうです。都市計画を学んでいくこともあり、まちづくりに関心があったマスターは快諾しました。南区の有志で「わがまちを元気にする会」を立ち上げ、現在も、ここ「えん」を拠点に活動しています。

不思議な縁が自然に集まってしまう、隠れ家ギャラリー「えん」。一度、畳の上でゆったりとコーヒーを飲みに来てみませんか。

コメント 梶野 碧さん

ギャラリーえんさんに行くと、いつも時間があつという間に過ぎてしまいます。ただのんびりしているだけのけれど、幸せで贅沢な時間です。みんながずっと、そんな風に過ごせたら、平和な世界がひろがりそうです。

自然育児 森のわらべ多治見園 園長 浅井智子さん

岐阜県多治見市
<http://plaza.rakuten.co.jp/morinowarabe/>



「えん」を訪ねたのは、とあるイベントで貸し切りの日。そこで、自然育児森のわらべ多治見園の園長、浅井智子さんのお話を聞くことができました。皆さんは「森のようちえん」というものを聞いたことがありますが、園舎を持たず、雨の日も風の日も、自然の中で自由にのびのびと

もたちの生まれ持った自ら育っていく力を信じ、見守っていく場所です。週4日の午後2時までという限られた時間ですが、それでも入園を希望する親御さんは増え続けています。先が見えず、複雑化していく社会の中で、本当の意味での「生きる力」の必要性を感じているからではないでしょうか。子どもの世界で起きていることは、大人の世界で起きているのでしょうか。すべての子どもたちが笑ってキラキラ輝いて生きている社会になるといいですね。



恵木の杜 サマーフェスティバルが 開催されました

文・写真／大橋弘宜

晴天に恵まれた夏真っ盛りの8月5日、岐阜県可児市にある可児総合住宅展示場「恵木の杜」にて、恵木の杜サマーフェスティバルが開催されました。

当日は、屋内ではお料理教室としてナポリ風ピッツァ体験、恵のサロンで制作された色えんぴつ画などの作品展示会、エキゾチックなベリーダンス、アコースティックなジャズコンサートが行われました。屋外ではラムネやかき氷が振る舞われ、ボールすくい、木工教室と、



親子連れを中心に午前から賑わいを見せていました。来場された方は、かき氷やラムネを片手に木陰で涼んだり、屋内で催しを楽しんだりしていました。お料理教室では、子どもたちが生地を伸ばし、自分が食べたい具材をピッツァの生地に乗せ、親子で美味しそうに焼きたてを味わっていました。

午前中にもかかわらず多くの人が集まった、きらびやかな衣裳と踊りを魅せてくれたベリーダンスは、その迫力と音楽の音

色、太鼓のリズムなどに会場からは大きな拍手が。ベリーダンス教室は恵のサロンで開講されており、エキゾチックでしなやかな動きが、ダイエツトや健康にも効果的で、普段着ることのないきらびやかな衣裳も楽しめます。他にも恵のサロンでは、フラダンスやバステル画、レザークラフト教室などほぼ毎日のように講座が開催されています。ご興味ある方はぜひ恵のサロンへ足を運んで見て下さい。



活たる日々

四季折々、私たちの日々を彩り、楽しませてくれる植物について、ちょっといい話、役立つ知識を紹介します。

文・写真／山崎智子

秋の気配を感じるようになりましたね。夏のお疲れは出ていませんか？今回ご紹介させて頂くのは「りんどう」ですが、青色に白が混ざっているものは珍しいかと思えます。

りんどうの花色にはイライラなどを抑えて上昇した「気」を下げる働きがあるので、肝臓にいい影響を与えられているとされています。二日酔いにも効果があるようです。

美味しい食べ物が出始めるこの季節

ですが、青色には食欲を抑える効果もあるので、食べ過ぎないように食卓に飾るのもお勧めですよ。

他には合理性や客観性を高めてくれる色なので、家事や仕事をテキパキと片付けたい時にも側に飾っておきたい花です。

りんどうの花効果で弱った肝機能を活性化してテキパキと仕事をこなし、実り多き秋にしていきたいですね。



黒川東展示場二階部分が リニューアルされました

文／大橋弘宜 写真／木村善則



今回の表紙でもある黒川東展示場（黒川東ハウジングセンター内）がリニューアルされました。今回のリニューアル部分は二階部分の奥の部屋となり、コンセプトは3つあります。

1つ目に、お客様、とくに若い方が何度でも来たくくなるような、くつろげるカフェ空間作りを意識したこと。2つ目に、今、流行りでもあるスカンジナビアデザインを活かしたこと。シンブルでモダンでありながらも、木の暖かさ・インテリアの色合い・手作りの良さが空間に表現されています。北欧の家族を大

事にするという考え方も、新和建設の考え方と合う点も見逃せません。3つ目に、テラススペースでもある部分はガーデニングを取り入れ、緑を増やしました。それによって、一階の和空間と良い意味でのギャップを楽しめるカフェ空間として演出されました。

「一度ご来場頂いたお客様には、雰囲気が変わったことを、また初めて来られる方には、こういった家づくりがあるということを楽しんで頂きたいです。外観や玄関では和風でちよつと敷居が高いかなと感じられるかもしれませんが、二階部分はこんな空間があるということ、

まずは体験しにいらっしゃってください。」と、担当の上戸さん。和の中に北欧デザインをうまく融合させ、より有機的に感じられる黒川東展示場へ一度雰囲気味わいにお出かけになっはいかがでしょうか。



お便り大募集

インテリア、収納、リフォーム、ガーデニング等々、暮らしを便利で楽しくするアイデア、身の回りで起こった出来事などをエッセイ風にまとめたものなど、みなさんからの声をお待ちしています。本誌に関するご意見、ご感想、ご質問、提案等も大歓迎です。

住所、氏名（誌上匿名可）、年齢、電話番号を明記の上、返信用ハガキ（株新和建設宛）をご利用下さい。

*掲載させて頂いた方には、図書券をお送りいたします。

おおごえこごえだより

木造建設会社のテーマとして、自然との共生のコーナーを毎号掲載してほしい。以前、松ぼっくりをバーベキューの着火材に使うアイデアが掲載されたことを覚えています。また、リフォームしたくなるようなアイデアも掲載されると良いと思います。（関市／M様）

▶1号の頃から購読してくださり、ありがとうございます。過去の記事も覚えていただいで、とてもうれしいお葉書でした。ぜひ今後の編集に生かしたいと思います。

夢つながり、PHOTO-ESSAY、活ける日々等、日常の暮らしの中に、新しい発見や感性を刺激して下さり楽しく拝読しています。（稲沢市／K様）

▶ありがとうございます。普段見過ごされていても、本当はきらっと光るモノが世の中にはたくさんあります。それを見つけてご紹介することで、みなさんの日常がちょっと楽しくなればと願っています。これからも応援宜しくお願いします。

ウッドデッキ塗装の仕方

新和建設ホームページの
「チャレンジ 住まいのメンテナンス、DIY」のコーナーもご覧下さい。
<http://www.sinwanet.co.jp/hint/maintenance/>

【使用道具】

木材保護着色塗料(ノンロット)(キシラデコール)
塗装用ハケ(大・小)各1個(目地用ハケ……スキマペンダー)
小分け用容器
ほうき
布
サンドペーパー(320番、600番)
マスキングテープ、マスカ
軍手
作業着
薄め液(ハケの手入れ用)



マスカ



スキマペンダー

【塗装準備】……塗装前に以下の準備をしましょう。

塗装をするウッドデッキ表面に付着している汚れやほこりを掃いたり拭き取る。
サンドペーパーを使い表面の塗装をこすり落とし、ケバだっている部分を滑らかにする。
(320番サンドペーパーを使う)

【塗装作業】

ノンロット及びキシラデコールは良くかき混ぜてから使しましょう。
ノンロット及びキシラデコールは薄めずに使うこと。
塗り始めは、ハケによく塗料を染み込ませてからむらが出来ないように塗装しましょう。
ハケ塗したあとは、すぐ拭き取り、ムラをなくす。
サンドペーパーを使い表面を全体にこする。(600番サンドペーパーを使う)
2度目の塗装をする。
塗装は、2度塗りすると効果的。

【塗装後の注意】

塗装後は最低でも丸一日乾燥させること。
乾燥後、数週間は素足で歩かないように。乾いた塗装が衣服に付着することがあるため。
拭き取った布の処分は、ビニール袋に入れて、水を混ぜて一般ゴミとして処分する。

	ノンロット	キシラデコール
当社使用塗料		
	購入場所……ロイヤルホームセンター 当社でも購入できます。	購入場所……各ホームセンター 当社でも購入できます。
	金額……3.5リットル缶:9,000~12,000円 塗装量目安……㎡あたり 80~130ml	金額……4リットル缶:9,000~11,000円 塗装量目安……㎡あたり 150~200ml



1. ウッドデッキの塗装前



2. ペーパー粗掛け



3. ペーパー粗掛け



4. テーピング



5. 塗装



6. 塗装ふき取り



7. 塗装仕上げ



8. 完成

発行
新和建設
発行人
吉村良三

編集人 書
伊東 かつり 湯浅千久

THANKS
梶野 碧、山崎智子、有田幸司、大橋弘宣、加藤光博、
木村善則、村田元夫、中村和子、戸上昭司

取材協力
倉さんご夫妻、隠れ家ギャラリー「えん」、
自然育児 森のわらべ多治見園

PRINTING
ブラザー印刷株式会社

編集後記

▶夏風邪はしつこい。あいうんざり。
でも、この風邪を生み出したのは誰
だっけ?……それはまぎれもなく、
この私です。身体さん、ごめんなさ
い。いつもありがとう。(梶野)

▶自家製炭酸作りにはまっています。
甘さもない炭酸水ですが、暑さ
を吹き飛ばしてくれます。(大橋)
▶編集後記の仲間が増えました!
数年ぶりです。とってもうれしいです。
まだまだ残暑残りますね。今年の秋
は、何を食べようかしら。(伊東)



株式会社新和建設



本社・本店Life住宅館
愛知県北名古屋市野崎山15番地
TEL 0568-23-0536 FAX 0568-22-3012



美濃加茂支店・夢の住宅館LEGEND
岐阜県美濃加茂市本郷町9-15-60
TEL 0574-25-6631 FAX 0574-25-6608



高山支店・LIVEすまいる館
岐阜県高山市松本町34-1
TEL 0577-32-8782 FAX 0577-32-8783



岐阜黒川支店
岐阜県加茂郡白川町黒川1646
TEL 0574-77-1314 FAX 0574-77-1314



一宮展示場
愛知県一宮市丹陽町五日市場字本地38番地
TEL 0586-81-3375 FAX 0586-81-3376



神宮東展示場 神宮東中田ハウジングセンター内
愛知県名古屋市熱田区三本松町25-1
TEL 052-883-5305 FAX 052-882-3581



黒川東展示場 黒川中田ハウジングセンター内
愛知県名古屋市北区猿投町2
TEL 052-914-5730 FAX 052-914-5731



蟹江展示場 CBCハウジングセンター内
愛知県海部郡蟹江町北新田1-60
TEL 0567-94-1555 FAX 0567-94-1556



可児展示場 可児ハウジングセンター内
岐阜県可児市下恵土字針田4100
TEL 0574-61-1638 FAX 0574-61-0721



多治見展示場 多治見ハウジングセンター内
岐阜県多治見市上山町1-4
TEL 0572-25-6777 FAX 0572-25-6858



春日井展示場
愛知県春日井市西山町2丁目6番9
TEL 0568-86-8878 FAX 0568-86-8868



各務原展示場 岐阜ハウジングギャラリー各務原内
愛知県各務原市蘇原青雲町3丁目41の1
TEL 058-371-7013 FAX 058-371-7014



木香の森 鹿田総合住宅展示場
北名古屋市鹿田合田240番
TEL 0568-68-6015 FAX 0568-25-0980



恵木の杜 可児総合住宅展示場
岐阜県可児市下恵土2993-1
TEL 0574-63-0715 FAX 0574-63-7016



高山展示場
岐阜県高山市松之木町308
TEL 0577-32-8782 FAX 0577-32-8783